

モニタリングサイト1000 シギ・チドリ類調査 ニュースレター



モニタリングサイト1000



環境省自然環境局生物多様性センター / NPO法人バードリサーチ

2015年 冬期概要

2015年冬期の結果概要

モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査の2015年度冬期概要をお知らせします。

冬期の個体数は減少傾向が続く

2015年度冬期調査は、2015年12月1日から2016年2月29日までの期間実施されました。114ヶ所の調査サイトで調査が実施され、このうち一斉調査(1月10日を基準日とした前後1週間の調査)への参加は102ヶ所でした。一斉調査期間では、シギ・チドリ類 37種 26,722羽、ツクシガモ2,418羽、ヘラサギ14羽、クロツラヘラサギ 267羽、ズグロカモメ1,619羽が記録され、冬期の全サイトの最大個体数(調査期間内に記録された各種個体数の最大値)の合計では、シギ・チドリ類 41種 45,876羽、ツクシガモ5,138羽、ヘラサギ33羽、クロツラヘラサギ470羽、ズグロカモメ3,181羽が記録されました。

1999年からの「全サイトの最大個体数の合計」と「連続して調査が継続されているサイトの最大個体数の

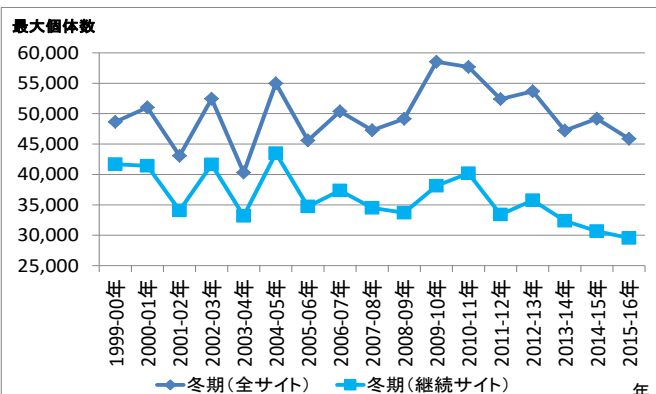


図1. 冬期調査における全サイトと継続調査しているサイトの最大個体数合計の推移 (2000年から2015年の継続サイトN=43)

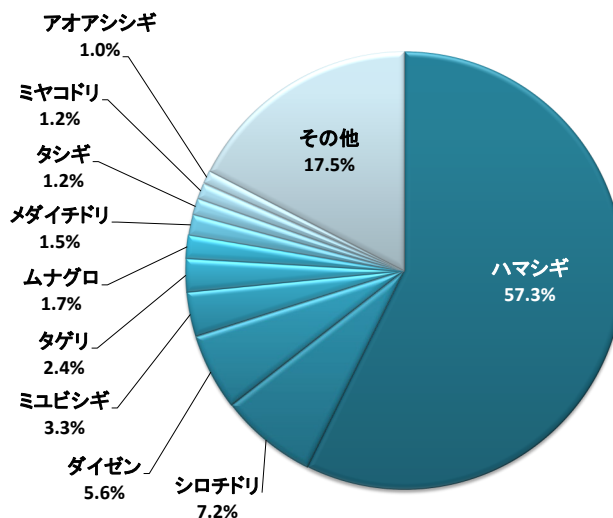


図2. 2015年冬期調査の優占種

合計」を、グラフに示しました(図1)。全サイトの最大個体数の合計は、前年度冬期と比べ約3,300羽減少(-6.7%)し、継続サイトでは、前年度冬期と比べ約1,100羽減少(-3.6%)して、2,9545羽と継続サイトの合計では昨年に続き2000年以降の最小値を更新してしまいました。

最大個体数における優占種の上位5種は、ハマシギ(57.3%)、シロチドリ(7.2%)、ダイゼン(5.6%)、ミュビシギ(3.3%)、タゲリ(2.4%)で、上位種に変動はありませんでした(図2)。特定の4種(ツクシガモ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、ズグロカモメ)では、ズグロカモメが、一斉調査期間に前年度冬期と比べ835羽減少(-34%)し、1,619羽でした。曾根干潟や氷川で個体数が少なかったためですが、全サイトの最大個体数の合計では前年度3,324羽と大きく変わらず、3,181羽でした。



写真1. ズグロカモメ (写真: 三木敏史)

ミュビシギが減少大

最大個体数の合計の上位5種の経年変化を図3と図4に示します。ハマシギは近年減少傾向にあり、シロチドリはモニタリングサイト1000開始時期から減少傾向が続いています。ダイゼン、ミュビシギ、タゲリでは個体数は維持傾向にありますが、昨年度と比べると減少し、上位5種全てで減少しました。特にミュビシギで減少割合が大きく、前年度冬期と比べ1,055羽減少(-37.6%)し、1,749羽で、2004年度以降で最小値を記録しました。減少要因としては、生息環境である砂浜の環境悪化や面積の減少が考えられます。また、シギ・チドリ類全体的な減少については、黄海沿岸の湿地の埋め立てによる生息地減少が要因になっている可能性があります(Yang *et al.* 2011)。



写真2. ハマシギ(上)とシロチドリ(下) (写真:三木敏史)

クロツラヘラサギは増加傾向

特定の4種(ツクシガモ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、ズグロカモメ)の経年変化を図5と図6に示します。昨年度冬期はヘラサギが過去最大数を記録し、今年度は減少しましたが、34羽と過去3番目に多い記録になっています。ツクシガモ、ズグロカモメは減少しましたが、クロツラヘラサギは継続して増加傾向にあります。世界の総数も増加しており(Hong Kong Bird Watching Society 2015)、重要な越冬地のひとつである日本でも同様の傾向が表れています。



写真3. クロツラヘラサギ (写真:三木敏史)

引用文献

Yang, H-Y., Chen, B., Barter, M., Piersma, T., Zhou, C-F., LI, F-S. and Zhang, Z-W. 2011. Impacts of tidal land reclamation in Bohai Bay, China: ongoing losses of critical Yellow Sea waterbird staging and wintering sites. *Bird Conservation International* 21: 241-259.
 Hong Kong Bird Watching Society. 2015. The International Black-faced Spoonbill Census. (<http://www.hkbws.org.hk/BBS/viewthread.php?tid=22982>)

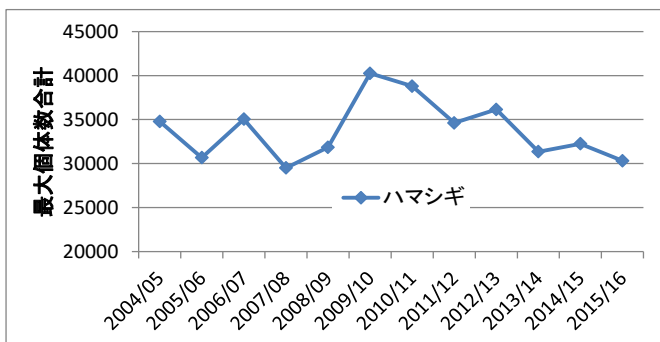


図3. ハマシギの総数の推移

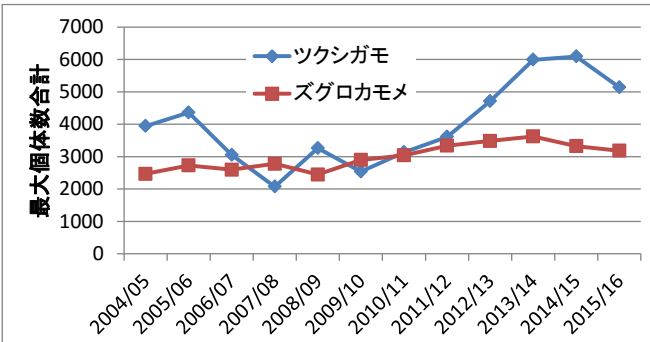


図5. ツクシガモとズグロカモメの総数の推移

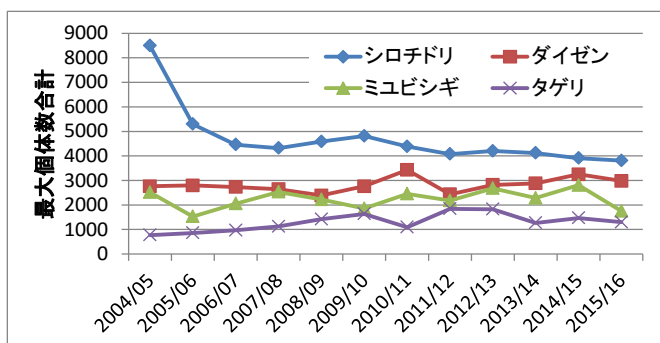


図4. シロチドリ、ダイゼン、ミュビシギ、タゲリの総数の推移

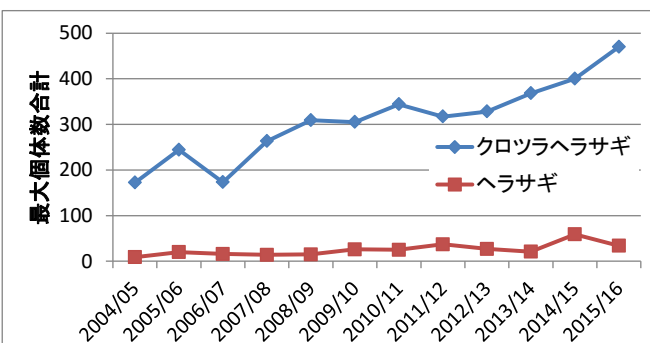


図6. クロツラヘラサギとヘラサギの総数の推移

モニタリングサイト1000 シギ・チドリ類調査 ニュースレター タイトル写真:ダイゼン(三木敏史) 2015年 冬期概要

発行元: 環境省自然環境局生物多様性センター <http://www.biodic.go.jp/moni1000/>

編集: 特定非営利活動法人 バードリサーチ <http://www.bird-research.jp/>

編集者 守屋年史・奴賀俊光 電話/Fax: 042-401-8661 メール: shigichi@bird-research.jp